

三河商人道

PART
203

青年部とは「責任感のある人間集団」



【会社・仕事への思い】

大学を卒業後に三重県の布団屋へ3年間の修行に行き、その後家業に入るも、親との折り合いが合わず一度は家を離れ以前から興味のあった自動車整備の仕事をするが、親への思い布団屋への思いから戻ることを決意した。

布団屋はもともと粗利の高い仕事であり、自分の為に商売をしているという傾向が強い業種であった。その為、本当にお客さんの為になる商売をしたいとの思いから、一人一人に合った布団選びができるように努めてきた。昔は布団と言えば結婚の時に親が購入してくれたが、今は自分達で選ばなければならないから間違った選択をして欲しくない。そこで、まずは正しい選び方をお伝えしてお客さまの意見や考え方を聞いた上で選んでいただいている。

とにかく事業を継続することが目的なので、高い利益を上げることよりも若いお客さまに安くて良いものを提供していきたい。また、SNS を活用した宣伝など当初はまったく考えていなかったが、今は宣伝だけでなく自分という人間をアピールするツールとしても活用している。

【青年部に入会されたきっかけ】

住宅の変化により布団よりもベッドが多くなったことなどで経営危機を経験していた最中、磯部亮次先輩・杉浦尚先輩・杉浦寮子さんの勧めがあり少しでも事業への刺激になればとの思いで平成24年度に入会した。

【思い出に残る青年部活動】

平成28年度所属した振興委員会は特に思い出深い委員会であった。夏祭り「変形型あきんにゃロボ」を夜遅くまで委員会メンバーと製作したこと、また12月例会では鈴木昭弘先輩を中心に創意挑戦バンドを組みギターを演奏したことも思い出として残っている。

【趣味など】

整備士の資格を持っているので、車とバイクをいじることが趣味。また潜水士の資格も持っており、妻と出会ったのはスキューバダイビングがきっかけ。今は仕事が忙しくて行くことができないが、落ち着いたら妻と一緒にスキューバダイビングをしたり旅行にも行きたい。

【青年部とは・・・】

「責任感のある人間集団」一人ひとりが自分の仕事に責任を持っており、尊敬し合える集団。

最後に後輩の皆様へ

「遠慮せずに自分を出してこれからの青年部活動をして欲しい」

～～取材担当～～
岡崎ゆかり委員会

- ・澤田修一
- ・西森紳司
- ・岡田隆司
- ・小笠原弘樹
- ・井上和俊
- ・岡本ミカ
- ・清水裕司
- ・丸山健一
- ・照井彬等
- ・荒川真帆
- ・大竹史将
- ・加藤静真
- ・原田翔太

